

太平洋に浮かぶ花の島 “沖永良部島”

◆沖永良部島は、周囲55.8km、面積93.6km²の珊瑚礁が隆起してできた島です。

◆年間平均気温は22.6℃、温暖な気候を利用して花の栽培（てっぼうゆり、スプレーギク、ソリダゴ、グラジオラス等）が盛んです。



(和泊町の町花) てっぼうゆり



てっぼうゆり栽培のはじまり

◆明治30年頃、沖永良部島沖で難破した英国人アイザックバンティング氏を助けたことがきっかけとなり、ゆり球根の取引が始まったといわれています。

◆てっぼうゆりは、古くから島の人々に親しまれ、愛されてきた花です。



えらぶゆり発祥の碑



栽培品種は
“ひのもと”



無加温ハウスでのゆり栽培